

ノーブルホームカップ第 27 回関東学童軟式野球秋季大会県予選大会

大会要項

1. 主催 一般財団法人 栃木県野球連盟 株式会社ノーブルホーム
2. 後援 下野新聞社
3. 協賛 ナガセケンコー株式会社 ミズノ株式会社 株式会社共同写真企画
4. 主管 芳賀町野球連盟
5. 会期 2025 年 10 月 4 日（土）より土曜・日曜・祝日に行う。（雨天順延）
6. 会場 芳賀町ひばりが丘公園野球場 A・B 球場
7. 参加チーム 2025 年度県連盟に登録され、各ブロックより選抜された 16 チーム
8. 適用規則 2025 年度公認野球規則および競技者必携に記載の「学童野球に関する事項」並び、別に定める大会特別規則を適用する。出場チームは必ず、上記規則書・競技者必携を持参のうえ、参加すること。
9. 使用球 (公財)全日本軟式野球連盟公認球ナガセケンコー J 号とし、毎試合 2 個以上チーム持ちでお願い致します。（試合中に紛失してしまった場合は、追加での提供をお願いする場合がありますのでご了承願います。）
10. 参加申込 連盟の HP より参加申込書をダウンロードのうえ、必ず、パソコンで必要事項を入力して作成し、エクセルデータを下記メールアドレスに送付してください。
 - 送付アドレス : junior@tochigi-bbl.com
 - 申込書の書き方：背番号の若い順から入力してください。
 - 締め切り：2025 年 9 月 24 日(水)（必着）
 - 参加申込み完了は参加料の振込確認後となります。
11. 参加料 25,000 円／1 チーム
下記のいずれかの方法で納入してください。
 - (1) 銀行振り込みの場合：必ずチーム名で振り込むこと
チーム名以外でお振込みは確認が取れず、申込完了となりません。

* 足利銀行 江曾島支店 普通預金 口座番号 5128261
口座名義人 一般財団法人 栃木県野球連盟
代表理事 中島 宏（ナカジマ ヒロシ）
 - (2) 郵送の場合：現金書留とする。
〒320-0834 宇都宮市陽南 4-14-14
(一財) 栃木県野球連盟 宛 TEL 028-645-5589
 - (3) 持参：県連事務所に直接払い込み。
12. 監督会議 9 月 27 日（土） 受付 14:30 開始 15:00
 - * ブレックスアリーナ宇都宮（宇都宮市体育館）会議室
宇都宮市元今泉 5 丁目 6-18 TEL: 028-663-1611
 - * 参加者 監督 1 名、主将 1 名の 計 2 名
※監督会議であるので、監督が出席すること
野球規則書、競技者必携、本要項・筆記用具持参にて出席すること

13. 表彰 ☐優勝 優勝杯（持ち回り）・優勝楯・優勝メダル、上位大会出場認定書
☐準優勝 準優勝楯・準優勝メダル

14. 適用規則 2025 年度公認野球規則および 2025 年度競技者必携に記載される「学童野球に関する事項」ならびに別に定める大会特別規則を適用する
以下、重要部分を抜粋し記載

（1）ベンチに入れる人員

大会登録した、監督（30 番）、コーチ 2 名（29 番 28 番）、選手 25 名以内（ユニフォーム着用。未登録指導者等のベンチ入りを禁ずる）
その他、スコアラー 1 名（ユニフォームは非着用）熱中症対策者 2 名（女性保護者・ビブス着用）。尚、熱中症対策者は入らなくても良い。

（2）ユニフォーム・用具

① ユニフォーム

選手・監督・コーチは、同色、同型、同意匠でなくてはならない。

（指導者のロングパンツは、同意匠とみなさない）

スパイク（運動靴は不可）はフリーであるが、金属製（アウトソール部）のものは使用できない。

尚、ユニフォームを着用していない者は、準備中、練習中、試合中いずれの場合もグラウンドには出られない、出てはならない。（厳守）

② 試合中の用具の着用・・・JSBB の認証マークのあるもの

打者／走者／次打／ベースコーチ → 両耳付きヘルメット

捕手→捕手用ヘルメット、マスク、プロテクター、レガース、ファウルカップ

（3）試合方法等

① 試合は 6 回戦 または 90 分とする。

② 暗黒・降雨で試合続行不可能でも 5 回が終了していれば試合は成立する。

③ 5 回終了前であっても 90 分経過した場合は新しいイニングに入らず、均等回完了をもって試合を決する。（競技者必携 P44～45 参照）

④ コールドゲームは、5 回を終了時点、7 点差を生じたとき適用する。
但し、決勝戦は適用しない。

⑤ 同点の場合はタイブレイク方式を適用して勝敗を決する。

【タイブレイク方式】

継続打順とし前回の最終打者を一塁走者に、2 塁走者は順次前の打者とする。

すなわち、無死走者一・二塁の状態にして、投手の投球制限を遵守の上、勝敗が決するまで行う。（競技者必携 P41～42 参照）

（4）投球制限

① 1 日 70 球以内（4 年生以下は 60 球）。

② 投球数に達した場合、その打者が打撃を完了するまで投球できる。

③ ボークにかかわらず投球したものは投球数に数える。

④ タイブレイクになった場合は、1 日の規定投球数以内で投球できる。

- ⑤ 準備投球や牽制球、送球は投球数としない。

【投球数測定のご協力のお願い】

両チームより成人1名（保護者）を選出いただき、大会本部設置の表示カウンターにて投球数を数えて頂きます。これを、正式投球数とします。

尚、イニング毎、本部席（記録員・審判員）にお知らせください。

投手が変わったらリセットし、再登板があった場合は、本部席に前の投球数を確認し、続けて測定ください。（測定者もメモなどお願いします。）

尚、投球数は自チームの投球を数えてください。

（５）指名打者

指名打者制を採用することが出来る。

但し、二刀流、いわゆる大谷ルールは採用できない。

（６）攻守決め

第2試合以降の打順表の交換（攻守決め）は、3回終了時に本部に提出し、球審立ち合いのもとジャンケン（勝者選択）にて決定する。

攻守決定後、先発投手1名のブルペンの使用を認める。

尚、メンバー表に学年を○付数字（5年生＝⑤）で空スペースに記入すること。

15. そ の 他

（１）健康管理

チームは（選手）は、自主的にスポーツ傷害保険等に参加し万全の体制で大会に参加すること。

尚、試合中に起きた負傷等についてはチームにおいて一切の処理を行うものとし大会本部では一切の責任を負わない。

（２）各チーム、個人が撮影する写真・動画の取り扱いについて

試合の写真・動画撮影データ等は、個人で楽しむ、思い出として保管するものとしていただき、SNS等へ配信UPする場合には、必ず被写体チームの承諾を得ておこなうこと。尚、無許可の場合でも大会本部は責任を負わない。

（３）マナーを守った節度ある応援について（競技者必携 P8）

- ① イニングの間は一切の応援をやめ、守備側は座ったまま、拍手のみで応援する。
試合が中断（球審の場内放送や選手のケガなど）した場合、応援や演奏は直ちに中止する。
- ② 試合途中のグラウンド整備中は、応援や演奏を中止して水分補給や休息に充てる。
- ③ 楽器（太鼓、トランペット、ホイッスル等）などの鳴り物は使用できない。

（４）試合当日雨天の場合、実施の有無を当日朝 6 時頃に判断し連盟HPに 6 時 15 分

までに掲載するので確認してください。

“実施検討中”となっている場合は、再度確認ください。

尚、当日の朝の実施の有無については、電話での問合せは受けつけない。

(5) 優勝チームは、11月22日(土)より茨城県で開催されるノーブルカップ第27回関東学童軟式野球秋季大会に本県代表としての出場権を獲得する。

★ 個人情報の取扱いについて ★

選手登録に記載された個人情報は、適切かつ安全に管理したうえで下記の項目に関してのみ利用し、その他の目的には利用致しません。

ア 主催者等からの大会に関する諸連絡。

イ 記録等に関する新聞報道等への掲載。

ウ 指定写真会社など協賛企業からの連絡。

以上